板橋区立赤塚第二中学校　学校だより　＜第２号＞

教育目標「立志・鍛錬・協調」

芙　蓉

令和５年５月１５日
校長　木村　知広
〒175-0094
板橋区成増 3-18-1
TEL (3939)0247

対話的な学び等の充実を図るために

校長　木村知広

５月８日に新型コロナウイルス感染症の５類感染症への移行に伴い、過日お知らせしたとおり本校においても感染症対策を変更いたしました。また、教育活動においても、様々な制限が撤廃されたことから、今まで特に制限されていた対話的な学びやグループ活動等の充実を図り、自己の考えを広げ深めることができるよう授業や学校行事を工夫していこうと考えております。

そこで、学習を進める上で、改めて皆さんに考えて欲しいことがあります。それは、今までの経験から「他者と対話や議論をするときに気をつけなければならないことは何か？」です。

対話や議論というのは、お互いの言葉を交わすコミュニケーションの行為ですから、相手の言葉や気持ちを大切にするとともに、自分の言葉や気持ちも大切にする必要があります。

さて、皆さんはいくつ頭に浮かびましたか。皆さんが頭に浮かべたことは、今までの経験から学んだことですから、それをこれからの学習等でも活かして欲しいと思いますが、参考までにフィンランドの小学校５年生が作ったという「議論のルール」を紹介します。

フィンランドの小学５年生が作ったという「議論のための１０のルール」

1. 他人の発言をさえぎらない
2. 話すときは、だらだらとしゃべらない
3. 話すときに、怒ったり泣いたりしない
4. わからないことがあったら、すぐに質問する
5. 話を聞くときは、話している人の目を見る
6. 話を聞くときは、他のことをしない
7. 最後まで、きちんと話を聞く
8. 議論が台無しになるようなことを言わない
9. どのような意見であっても、間違いと決めつけない
10. 議論が終わったら、議論の内容の話はしない

これを読んで、皆さんはどのような感想をもちましたか。私は、小学生の感性と経験を活かしたルールで、本当によくできているなと感心させられました。特に、「議論が台無しになるようなことは言わない」「どのような意見であっても、間違いと決めつけない」というのは、大人の私たちでも改めて気をつけなければならないなと気づかされました。

このように、対話や議論というのはコミュニケーションの一つですから、先ほど皆さん一人一人が頭に浮かべたことや今回考えたことに加え、本校で大切にして欲しいことの一つである**『一人一人の個性などの違いを認める心と温かい思いやりの心をもって人と接すること』**も大切にしながら、対話的な学びやグループ活動等の充実を図り、学びを深めていって欲しいと思います。皆さんの頑張りを期待しています。

ひまわり

生活委員会では、右の「ひまわり」というキャラクターをつくって、校内での挨拶の活性化を呼びかけています。挨拶をすることは自らの心を開き、相手を認めるということです。そして、相手を認めるということは、相手にとっても清々しい気持ちとなり、よりよい人間関係をつくることにつながります。
日頃から、「笑顔で、相手の目を見ながら、自分から先に挨拶をする」ことができるようになるといいですね。

学びのエリア研修会

５月１０日に成増小学校・成増ヶ丘小学校の先生方を本校にお迎えし、総勢８９名の先生方で研修会を行いました。中学校の各教科の授業を参観していただいた後に、今年度のテーマである「chromebook の系統的な活用」及び「各教科の指導方法等」について熱心に熟議を行い、９年間を見通した指導方法について研鑽を深めました。

また、今年度は、教職員の交流に加え、児童生徒の交流も活発に行い、学びのエリア全体の一体感を深める予定です。

ボランティア・地域清掃

５月１２日に、しらさぎ児童館・なります児童館主催である「中学校ボランティアクラブ」の説明会がありました。本校からは区内中学校では最大の３９名の希望者が参加し、前期の事業説明を伺った後、申込みを行いました。今後ボランティアに参加したいという生徒は、ぜひ両児童館に問合せしてみてください。

また、５月１４日には、保護者・生徒・教員を含めて１００名を超える人数が参加し、生徒会主催の地域清掃を行いました。生徒の皆さんのボランティア精神に感心するとともに、より美しい地域にしようと、一生懸命に清掃活動に取り組む姿勢にも感動しました。

いずれの活動においても、校長として本当に嬉しく思いますし、とても誇らしいと感じています。ぜひ充実した活動にしていきましょう。

※地域清掃活動では、今後も美しい地域をつくりあげるため、活動をさらに充実させていきたいと考えております。ぜひ、保護者･地域の皆様方もお気軽にご参加いただけたらと思います。次回は6月11日に開催予定です。

開校記念日

５月１日に本校７６回目の開校記念日を迎えました。開校以来、地域・保護者の方々や卒業生・在校生の思いによって、様々な変化・成長を遂げてきました。主な出来事を振り返ります。

・昭和２２年（1947 年）赤塚第二中学校を赤塚小学校内に設立[5 月 1 日]

・昭和２４年（1949 年）赤塚小学校より現在地に移転・校章改訂（現在の校章）[9 月]

※現在の校章は、アンケートなどをもとに、芙蓉が地域に大層多かったことにくわえ、校歌にもあることから、芙蓉の花の五弁の中に中学校の中を模したデザインに変更した歴史があります。このような経緯から、本校では、『芙蓉』というキーワードを大切にし、学校だよりや和室の名称に使われるようになっています。

・昭和３５年（1960 年）「風かおる」塑像除幕式[9 月 15 日]

※昇降口正面にあるブロンズ像『風かおる』は、当時息子さんが在籍していた彫刻家の柴田呵赤さんから、「息子の卒業を機会に私の制作した像を贈りたい」という好意あるお申し出を受けるとともに、ＰＴＡの方々のご協力により当時の体育館正面に設置されましたものです。この経緯から『風かおる』というキーワードも大切にしており、ＰＴＡ広報誌の名称にも使われるようになっています。

・昭和５６年（1981 年）標準服改訂実施（現在の標準服）

・平成２５年（2013 年）新校舎使用開始（現在の校舎）

◎代々の先輩方から引き継がれているものは、目に見えるものだけではありません。例えば 2013 年設立以来、綺麗な校舎を維持できているのは、美しい校舎を後輩に残そうとする心、後輩に背中で語ることができる先輩になろうとする心、集団美や安心・安全といった精神が引き継がれているから、今でも綺麗なのです。脈々と受け継がれてきた精神と伝統を心に刻み、未来に向けて赤塚第二中学校をさらに発展させていこうとする強い気持ちをもって、学校生活を送りましょう。